高市首相の降って湧いた指示で、残業時間の上限規制の緩和（働き方改革→働かせ方改革）が労基法を改正して行われるのでは…との観測は、過労死家族会等の反発で白紙に戻されました。

社労業務の係より

身を切る改革者のウラの顔 政権与党が脱法行為！

大分に「こしきぃ」という方言がありますが、こしきぃやり方で日本維新の会の関西地方の議員6人が本来なら国保に加入すべき所、維新の会国会議員の元公設秘書が代表理事を務める一般社団法人の役員に就き、月に1万円程の報酬を受け取り社保に加入し、著しく低額の社保料しか払わずに済ませていた事が判明しました。いわゆる「国保逃れ」の脱法行為です。あくまでも維新の会独自の内部調査で議員ら800人程を調査した結果だといいます。しかし半数に近い約360人が国保でなく社保に加入しているというから驚きます。昨年7月には東京維新の会の元区議が、LINEで「議員を続けながら社保に加入し支払いを下げることが可能」とのﾒｯｾｰｼﾞを維新の会の仲間に送っていた事も判明。維新の会代表の吉村洋文氏（大阪府知事で弁護士）はNHKが放送した年頭番組で「年収350万円の場合、年間100万円も社保料負担！高過ぎる」と発言。「身を切る改革」は一体どこに…？

にしうまぎょうせい事務所 ニュース <NO.398> 2026年2月発行

繰返される薬害の原因 情報放置 徳田弁護士の講演会で

「毒をもって毒を制す薬」で(1)薬害はどうして起こるのか(2)日本ではなぜ薬害が繰り返されるのか(3)薬害根絶のために求められることは…との題目の講演会が1/10(土)にﾙﾄﾎｰﾙで開かれました。講師は徳田靖之弁護士(81)。日本は長い間、ﾊﾝｾﾝ病の元患者が社会の中で生きられないよう隔離し、断種を行い、赤ん坊や胎児の命を奪いました。旧優生保護法は憲法に違反している…と差別の問題に生涯をかけて取り組んできた弁護士です。日本における主な薬害は①ｻﾘﾄﾞﾏｲﾄﾞ事件…ﾄﾞｲﾂの夢の睡眠薬ｻﾘﾄﾞﾏｲﾄﾞによる障がい児の誕生②ｽﾓﾝ事件…整腸剤ｷﾉﾎﾙﾑによる多発性神経炎、被害者は2万人③薬害エイズ事件…血友病の治療薬によるＨＩＶ感染。600人余が死亡④薬害ﾔｺﾌﾞ事件…人工硬膜によるｸﾛｲﾂﾌｪﾙﾄﾔｺﾌﾞ病⑤薬害肝炎事件…出産等の大量出血時に投与の血液製剤によるC型肝炎⑥HPV薬害…子宮頸癌ﾜｸﾁﾝの副反応などと数多く、その最大の要因は国の危害情報の放置といいます。

社労業務の係より

毎週金曜日の９~10時にミーティングを行います。また業務時間は平日の９時から１７時15分までですが、お昼休みの１時間は事務所の玄関は施錠し、電話は留守番電話応答としています。この時間に来所されるご予定の方は、事前にご連絡ください。